

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすくら神戸伊川谷教室

保護者等数(児童数) 4名 回収数 4 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				・広々としていて、伸び伸び活動ができそうだと感じました。	今後もご利用定員を超える事なく十分な活動スペースの確保に努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4				・しっかりと細かい部分まで見ていただいていると思います。	今後も適切な職員配置が行える様に調整を行うと共に、職員研修等も積極的にを行い、より専門性のスキルアップを行ってまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2			2	・バリアフリー化については分かりません。 ・教室内もきれいで清潔に整えられ、分かり易く設備の配置も行われています。	教室内にホワイトボード備え付け、一日の流れや次の行動等、イラストなどを用いて視覚でも分かり易く行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				・清潔で明るい印象があります。 ・とてもきれいで活動しやすいと思います。	日々の掃除や整理整頓、感染症対策のための毎日のアルコール消毒等の徹底を行っております。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4				・親身になって話を聞いていただいて上で作成されています。	今後も、ご利用児の特性等を踏まえ、保護者様のニーズに寄り添った支援計画の作成に努めます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			1		ガイドラインに沿って、各項目に振り分け、且つ具体的に解りやすい支援計画を立てるように心掛けております。今後もご利用児童や保護者様ファーストの観点からニーズを熟知しながら個別支援計画の作成に努めてまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					個別支援計画を教室担当職員に共有し、児発管も支援にも加わりながら、支援計画に沿った支援を行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3			1	・普段家では出来ないことが経験出来て本人も嬉しく楽しめています。 ・毎回分野を違ったプログラムになっていて楽しめそうです。	毎月、管理者・児発管・教室職員と連携を取りながら、色々なプログラムや行事を企画し療育プログラムの作成を行っております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			2		保育所や幼稚園との交流は、感染症対策の観点から行ってないが、定期的に同法人内の他教室との合同行事や交流を行っています。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				・とても丁寧にしていただきました。	契約時に、管理者から重要事項やご契約内容、運営規定やご利用料金等について、しっかりと説明を行っています。今後も継続して行っております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					保護者様との面談時に、個別支援計画やモニタリングシートを提示しながら、具体的な説明を行い、保護者様に理解を得たうえで、次期の支援計画の作成を行っております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1			3		必要に応じて、保護者様への子育て相談やアドバイス・助言なども迅速に行っております。今後も継続して行っております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4				・毎回教室での様子をちゃんと教えてもらえるのでこちらも安心して子供を預けられます。 ・毎回送迎時にはその日の様子を丁寧に伝えていただいています。	送迎時に職員から、その日の様子をお伝えするようにしています。併せて毎日の様子を保護者と電子媒体の連絡帳にてやり取りも行ってまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					個別支援更新前の面談を基本に、状況に応じてそれ以外の場合でも必要な際は迅速に保護者様と面談の機会を設けております。今後も継続して支援を行ってまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1		2		今後必要に応じて、状況も見ながら行えるよう検討していきたいと思っております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				・相談や連絡はいつも迅速に対応していただいています。	契約時に苦情や相談窓口として、管理者および児発管の氏名をご紹介を行い、相談等があった際には迅速に対応しております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				・LINEでも気軽に情報伝達することも出来、いつも助かっています。	送迎時にその日の様子を口頭で伝えるようにしており、またその日の様子を電子媒体の連絡帳にて文字でのやり取りも行ってまいります。お子様の様子をLINEにてお写真を送信しお伝えも定期的に行っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			2	・活動予定等はいつも案内していただいています。 ・自己評価については分かりません。	毎月の療育プログラムを電子媒体にて保護者様に配信しております。自己評価結果については、当施設ホームページでも閲覧が出来るようにしています。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					個人情報等は施錠が出来るロッカー内に管理し、PC内の個人情報についてはパスワードを設定し管理の徹底に努めております。	
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4				面談するお部屋にもマニュアルが設置されています。	緊急時のマニュアルを作成し、緊急時の連絡方法や手順などは事務所内に掲示しています。毎月1回の避難訓練の実施を行っています。防災センターの見学にも行き、普段から子ども達に防災に対する備えを指導しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			1	定期的に避難訓練を実施されていて、帰ってきたら色々教えてくれます。	毎月1回の避難訓練を行っています。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4				・通所から2か月ですが、「もつとたくさん出席したい」と言うぐらい行くのを楽しみにしています。 ・初日から今まで毎回楽しみで待ちきれないようです。	今後も色々なプログラムや行事の企画を行い、子ども達が楽しく経験を積みながら、成長出来る場を提供していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	4				・勉強も「こぼんなら楽しい」と前向きに取り組んでいるようで今後の成長が楽しみです。	今回の結果に満足することなく、今後も保護者様との連携を大切にしながら誠心誠意、療育支援に従事いたします。

77 1 0 14

84%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸伊川谷教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		利用定員数に対しても、お子様達が十分に安心して過ごせるスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切であるか	6		配置は適切に行っております。出来る限り個々に寄り添えるよう配置を心掛けております。	今後もより良い支援に繋がるよう、体制作りに努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			建物の構造上すべてをバリアフリーにすることは難しいですが、今後も特性に応じて配慮しながら、必要の際は設備の改善を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		常に清潔であることを意識し、教室内の消毒・換気・適正室内温度等を含め環境作りに努めております。また活動スペースも状況に合わせて、お子様が活動しやすい空間作りを行っております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		日頃より業務改善について話し合いの機会を設け、取り組んでおります。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		評価表のみではなく、日頃の送迎時や連絡帳、LINE等も含めて意向を把握するようにし、業務改善に繋がるようにしております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	こぼんはうすさくらのHPIにて公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現在社内が必要に応じて、都度こぼん本部へ相談するようしております。	今後第三者による外部評価も検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	定期的に様々な研修の機会を設けるようにしております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		定期的にあセスメントを行い、職員へのヒアリングも行いながら、児童発達支援計画作成に反映しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		ガイドライン等用いながら実施しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		保護者様との面談時に、個別支援計画やモニタリングシートを提示しながら、具体的な説明を行い、保護者様に了解を得たうえで、次期の支援計画の作成を行っております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		児童発達支援計画に基づき支援を行い、お子様に変化が見られた場合は随時朝終礼や現場内で共有するようしております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	日々の朝終礼や会議で話し合い、立案を行っています。	今後もより良いプログラムで支援が行えるよう努めてまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		お子様の状況を見て、バランスの良いプログラムになるよう工夫しております。	今後もより良いプログラムで支援が行えるよう努めてまいります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		個別活動と集団活動をお子様の状況に合わせて適宜組み合わせは行っており、計画に反映もしている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎日朝礼時に確認と共有を行うようにしております。朝礼に参加できない職員に関しては出勤時に再度共有し、朝終礼ノートにも記録を残すようにしております。	日々より良い方法を検討しております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎朝終礼時にその日の支援内容に関して確認をし、時間をかけて丁寧に振り返りも行っております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		実施しております。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	児発管を中心に職員全員でモニタリングを実施し、計画に反映できるように取り組んでおります。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		6		現在相談支援事業所を利用されているお子様はいませんが、該当児がいる場合は管理者・児発管を中心に参画していく予定です。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		6		いつでも連携できる体制を整えております。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	現在該当児童はおりません。	受け入れる際には適切な体制を整えてまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	現在該当児童はおりません。	受け入れる際には適切な体制を整えてまいります。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	日々の送迎時をはじめ、必要に応じて行うようにしております。		

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		日々の送迎時をはじめ、必要に応じて行うようにしております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			スケジュールが合わず現在は受けられていないが、今後助言や研修も積極的に受けていきたいです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		送迎時や連絡帳、LINEやお電話など様々なツールも使用し必要な際は日々面談の機会も設けながら、共通理解を持てるようにしております。	必要性を感じましたら検討していきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		共通理解を持ちながら、ご家庭でも並行して行ってほしいことなども随時お伝えするようにしております。	スケジュールが合えば積極的に参加していきたいと思っております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時や連絡帳、LINEやお電話など様々なツールも使用し、必要な際は日々面談の機会も迅速に設けながら、共通理解を持てるようにしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6		お悩み等あれば些細な事でも随時、面談・お電話・LINE等で早急に行うようにしております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時を始め、変更等があればご説明するように努めております。	保護者会・交流会については現在検討を重ねております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		保護者様との面談時に、個別支援計画やモニタリングシートを提示しながら、具体的な説明を行い、保護者様に了解を得たうえで、次期の支援計画の作成を行っています。今後も継続して行って参ります。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		活動概要や行事予定、連絡体制等、電子連絡帳やLINEにてお写真等添付し発信しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		鍵付きの書庫にて書類保管しており、PC内等パスワードを設け、不要な書類はシュレッダーにて破棄しております。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		お子様や保護者様の状況に合わせて環境の整備や情報の共有等ツールも使用しながら配慮できるようにしております。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	動概要や行事予定、連絡体制等、電子連絡帳やLINEにてお写真等添付し発信しております。	今後必要に応じて検討してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		鍵付きの書庫にて書類保管しており、PC内等パスワードを設け、不要な書類はシュレッダーにて破棄しております。	保護者様への周知もより分かり易い形でお伝えするようにしていきたいと思っております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		お子様や保護者様の状況に合わせて環境の整備や情報の共有等ツールも使用しながら配慮できるようにしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			必要性があれば検討してまいります。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		教室内・面談室への掲示や設置を行い、いつでもだれでも確認できる状況にしております。	今後はこちらから保護者様へのお便りも検討しながらより周知できるようにしていきたいと思っております。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		各種災害に対して、毎月避難訓練を実施しております。		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時・個別支援計画作成時にも必ず確認を行っております。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に食物アレルギーは確認しております。現在該当児童はございませんが、注意が必要なお子様等配慮を行っております。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		都度作成し、教室内でファイルを保管しております。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		定期的の実施しております。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		面談室への掲示や契約時に必ずご説明するようにしております。必要なお子様に関しては面談等設け、十分にご説明し、同意を得たうえで支援計画に反映しております。		